
(新)城北公園再整備計画(案)

静岡市

2026年6月11日

1. これまでの経緯
2. (新)城北公園再整備計画(案)
3. 基本協定の解除
4. 今後の進め方

1. これまでの経緯

1-1 城北公園再整備事業(Park-PFI)

城北公園再整備事業の目的

- 城北公園再整備事業(Park-PFI)(2020年12月14日発表)は、都市公園法に基づく公募設置管理制度を活用し、民間事業者の創意工夫やノウハウを取り入れることで、公園の魅力向上と利便性の向上を図るとともに、持続可能な管理運営体制を構築することを目的としています。
- 本事業では、カフェなどの便益施設を民設民営で整備する一方、老朽化した園路や駐車場などの公園施設を計画的に整備・更新し、公園利用者の快適性を高めます。
- あわせて、行政単独では難しい機能更新や維持管理を効率的に行い、市の財政負担を抑制しつつ、城北公園を地域に親しまれる公共空間として次世代に引き継いでいくことを目指します。
- 2021年4月「つなぐ公園プロジェクト」(以下フジ都市開発(株)を代表とする複数の民間事業者から成る団体)をPark-PFI事業者として選定し、当該事業者と基本協定を締結しました。

事業の概要

【公園概要】

- ・公園種別:地区公園
- ・公園面積:約6.1ha

【事業概要】

- ・事業費:3,000万円
- ・公募時期:2020年12月
- ・事業期間:2022年～2042年(20年間)
- ・公募対象公園施設:飲食店(カフェ)、子育て支援施設
- ・特定公園施設:駐車場

【事業者】

- 『つなぐ公園プロジェクト』
- ・代表法人 フジ都市開発(株)
- ・構成法人 木内建設(株)、戸崎建設(株)フジヤマ、(株)サン



- 城北公園の一部の区域において、2021年に民間事業者のノウハウを活かしたPark-PFI制度を導入することとし、事業者と基本協定を締結しました。その後、2022年5月に民間事業者との整備や管理に関する協定の締結の差し止めを求めた住民訴訟が提訴されたため、Park-PFIによる整備を一時停止しました。
- その後、2024年3月に原告らの主張が棄却される判決が下されましたが、検討過程において、市民や利用者の皆様との対話や説明が十分ではなかった点について、市は重く受け止めています。
- このため、城北公園の現状を踏まえ、今後の城北公園の整備のあり方について改めて検討しました。その結果、一部の区域だけでなく、公園全体を再整備することが望ましいと考え、「再整備についての市の案」を整理しました。
- 市の整理した再整備(案)について、2024年10～11月にアンケート調査を実施した結果、再整備(案)への賛同は約8割を超え、駐車場整備、カフェ整備、子育て支援施設、園路改修、樹木管理についても概ね高い評価が得られました。一方で、安全性や大規模な施設整備への懸念も確認されました。

[illegible]

子育て支援施設

駐車場

カフェ

中央図書館

花時計

民間事業者のノウハウを活かした整備・管理を想定している区域

日本庭園

子ども広場

自由広場

駐車場

周回園路

約800m

約1000m

(8の字で通行)

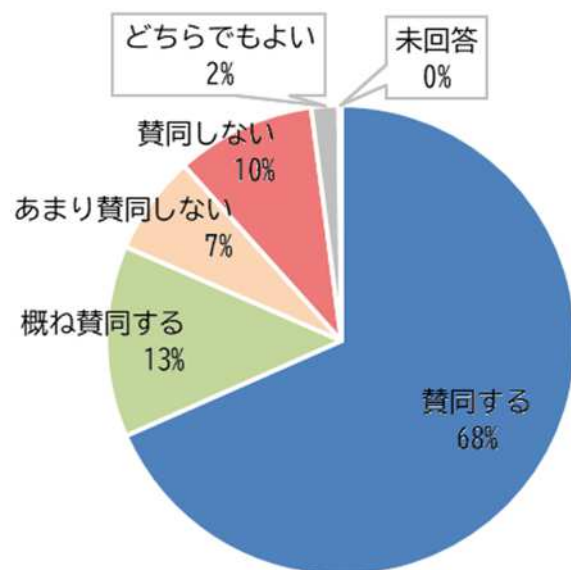
道路

P 5

1-3 再整備についての市の案(2024年10月に公表)

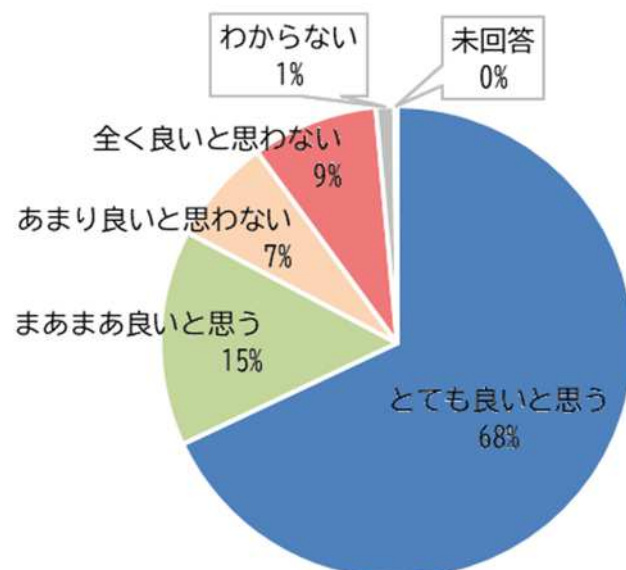
アンケート調査(2024年10～11月)による市民意向について(アンケート結果①)

①再整備について



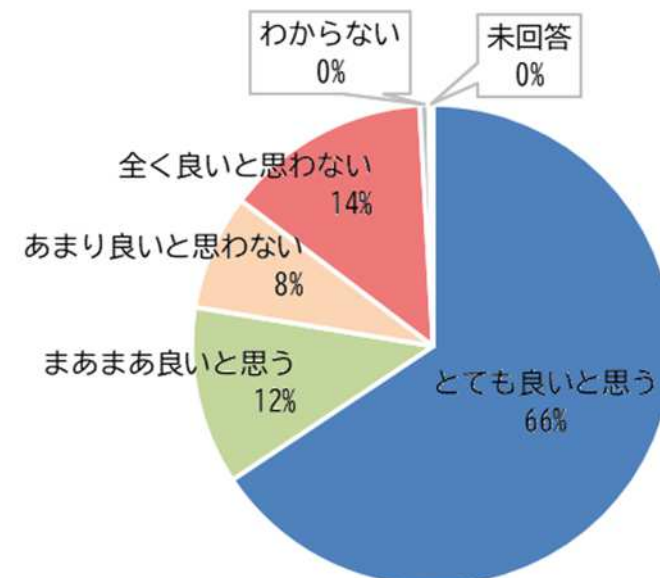
	合 計	
賛同する	1897	68.4%
概ね賛同する	365	13.2%
あまり賛同しない	189	6.8%
賛同しない	266	9.6%
どちらでもよい	52	1.9%
未回答	5	0.2%

②駐車場について



	合 計	
とても良いと思う	1886	68.0%
まあまあ良いと思う	409	14.7%
あまり良いと思わない	200	7.2%
全く良いと思わない	239	8.6%
わからない	35	1.3%
未回答	5	0.2%

③カフェについて

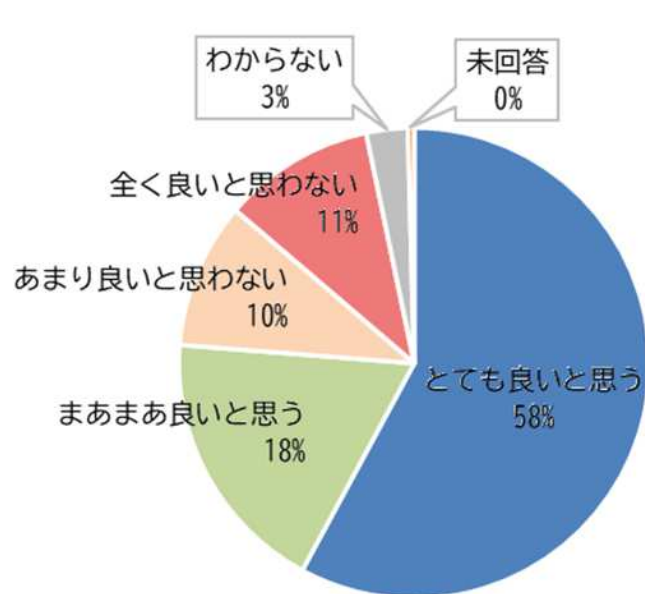


	合 計	
とても良いと思う	1821	65.6%
まあまあ良いと思う	331	11.9%
あまり良いと思わない	215	7.8%
全く良いと思わない	382	13.8%
わからない	17	0.6%
未回答	8	0.3%

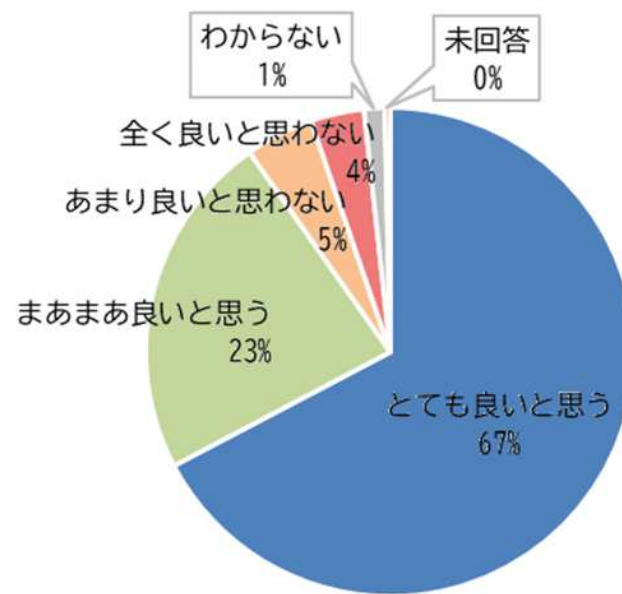
1-3 再整備についての市の案(2024年10月に公表)

アンケート調査(2024年10～11月)による市民意向について(アンケート結果②)

④子育て支援施設について ⑤公園樹木の維持管理について※ ⑥周回園路について

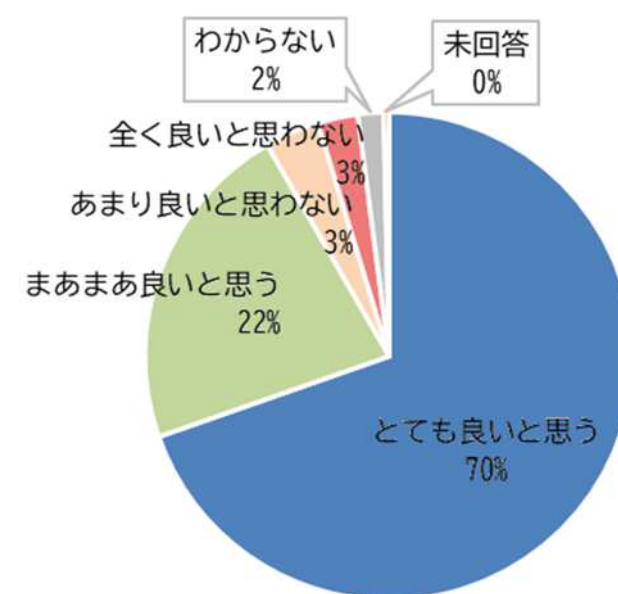


	合 計	
とても良いと思う	1606	57.9%
まあまあ良いと思う	509	18.3%
あまり良いと思わない	278	10.0%
全く良いと思わない	290	10.5%
わからない	79	2.8%
未回答	12	0.4%



	合 計	
とても良いと思う	1867	67.3%
まあまあ良いと思う	636	22.9%
あまり良いと思わない	125	4.5%
全く良いと思わない	98	3.5%
わからない	38	1.4%
未回答	10	0.4%

※樹木や落枝の恐れがある樹木や視認性を悪くしている樹木等の伐採や剪定、間引き等を進めたいと考えていることについての設問となります



	合 計	
とても良いと思う	1932	69.6%
まあまあ良いと思う	611	22.0%
あまり良いと思わない	100	3.6%
全く良いと思わない	74	2.7%
わからない	47	1.7%
未回答	10	0.4%

1-3 再整備についての市の案(2024年10月に公表)

アンケート調査(2024年10～11月)による市民意向について(主な意見の整理)

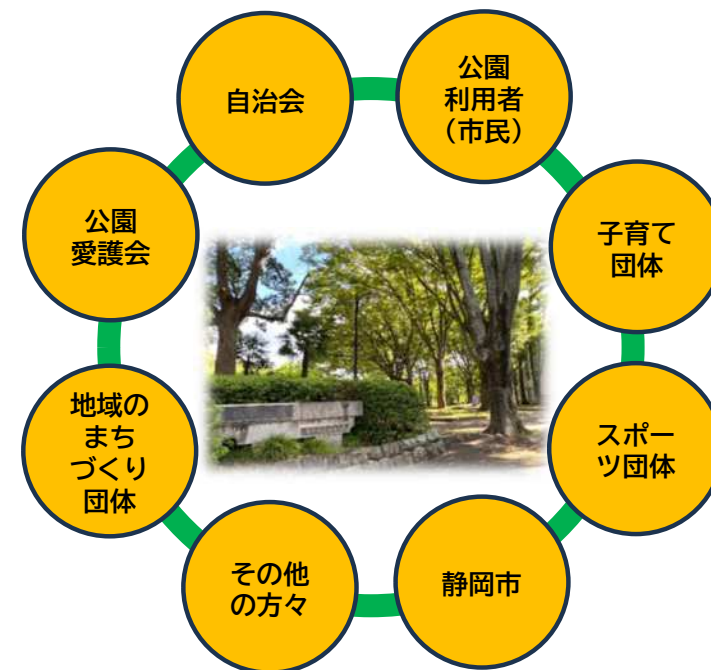
	期待	懸念	その他の意見
 駐車場	子育て世代からの強い要望。 「駐車場がなく使いづらい」 「ぜひ整備してほしい」	事故リスク、渋滞、公園面積 の減少、治安悪化	園外整備、小規模整備、有料 化、時間制限など慎重な対応 を
 カフェ・飲食	休憩や交流の場としての必要 性	「大規模・集客型」によるゴミ 増加、混雑、渋滞、樹木伐採リ スク	—
 子育て支援施設	雨の日でも遊べる室内施設、 授乳・おむつ替え機能	公園内に優先して新設すべき かという疑問	既存施設(図書館・児童館)で 対応・活用すべきとの声
 樹木・景観	健全な木や象徴的な景観(ケ ヤキ並木など)の保存	樹木による死角の発生、夜間 の暗さ、防犯面への強い不安	単なる伐採ではなく、防犯・ 安全・維持管理の観点からの 「間引き」と「剪定」
 安全防犯マナー	誰もが安心して利用できる環 境、適切な管理	ゴミの増加、マナー違反、治 安の悪化	ルール整備(明確なガイドライ ン)、清掃体制、防犯対策の強 化(パトロール)
 園路・トイレ・遊具	老朽化した施設の更新、バリ アフリー化、快適な利用	自然環境への影響、維持管理 コストの増大	既存施設の改修・長寿命化、 ユニバーサルデザインの導入

1-4 城北公園再整備に向けた懇談会(2025年2月～10月)

【設置の経緯と目的】

- アンケートでは、再整備(案)に賛同する意見が8割を超え、主に公園に導入する機能などハード面の方向性について、多くの方から一定の理解が得られました。一方で反対意見も確認されました。
- 城北公園は、市による管理に加え、地域住民の清掃活動や自治会・子ども団体の利用、近年のマルシェ開催など、管理や利活用といったソフト面により魅力が高められてきた公園でもあります。
- 今後も公園の魅力を持続的に向上させるため、公園の管理や利活用に精通した住民や関係団体、利用者と、「永く愛される公園づくりに向けた管理運営の在り方」を話し合う懇談会を設置することとしました。

【懇談会の参加者】



【開催状況】



1-4 城北公園再整備に向けた懇談会(2025年2月～10月)

懇談会からの提言書(意見のまとめ)の提出(2025年10月31日)

【懇談会から提出された提言書(抜粋)】

懇談会における意見(まとめ)

1. 住民参画の仕組み

- 維持管理費の低減による公園運営の持続可能性の向上
- より多くの住民が参加できる仕組み(プラットフォーム)の構築
- 参加を促す工夫・仕掛け(インセンティブ)の創設
- 住民と行政・専門家等をつなぐ中間支援組織の設置・活用の必要性
- 環境や動植物について学べる場としての活用による、教育的機能の強化
- 利用者の当事者意識(オーナーシップ)や関心(エンゲージメント)の向上
- マルシェの出店料やドッグランの使用料などによる収益事業の導入とその還元

2. コミュニティ・カフェ

- 公園内に過大な箱物施設はつukらない
(キオスクやキッチンカーなども選択肢)
- 地域コミュニティの活動拠点としての機能が
必要
- 飲食や休憩が可能な基本的なカフェ機能
- 住民参画や地域協働をサポートする機能
- 図書館との連動を見据えた配置計画の検討

3. 駐車場

- 原則、園外で整備するが、園内駐車場は
管理棟前のスペースを活用し最小限とする
- 歩行者、利用者の安全確保に十分配慮
- 障がい者など多様な利用者に対応
- 広域からのアクセスに配慮し利便性の確保
- スポーツ、マルシェ利用などの利便性向上

4. 樹木管理(高木・低木)

- 高木:健全性低下のリスクと維持費の低減
- 低木:視界の確保による防犯性の向上
- 次世代に継承すべき緑の資産としての保全
- 日陰の確保、日射を遮るシェルター機能確保
- 樹木管理のルール化による管理コストの抑制
- 四季折々の楽しみと、富士山の眺望の確保

5. 安心・安全

- 日常的な清掃や遊具等の点検・維持管理の徹底(施設管理)
- 防犯の視点を取り入れた園内デザインと管理の工夫、視線の確保や自然な見守りの導入(防犯)
- 照明の増設による夜間の安全性向上(防犯)
- 災害時の避難場所としての機能を高め、防災拠点としての役割を強化する(防災)
- 駐車場への車両動線と歩行者動線の分離、園内における自転車動線と歩行者動線の分離(交通)
- 地面の段差や樹木の根上がりなどの障害物(ハザード)を除去し転倒事故を防止する(バリアフリー)
- 明るく清潔で、日常的に管理の行き届いたトイレ環境の整備(施設・衛生)

1-4 城北公園再整備に向けた懇談会(2025年2月～10月)

懇談会からの提言書(意見のまとめ)の提出(2025年10月31日)

	提言書のまとめ
 1. 住民参加 の仕組み	清掃・管理・イベントなどに住民が参加できる仕組みづくり (負担を分かち合い、公園への愛着と持続的な運営につなげる)
 2. コミュニ ティカフェ	住民が集い、関われる「地域の居場所」をつくること (キッチンカーや簡易的なカフェなど、柔軟な仕組みを想定)
 3. 駐車場	駐車場は原則として園外に整備し、園内は最小限に抑えること (歩行者の安全確保を最優先し、障がい者等に配慮)
 4. 樹木管理	樹木は保全と安全を両立し、計画的・ルールに基づいて管理すること (高木による危険や死角を減らし、景観や次世代への継承を重視)
 5. 安心・安全	日常の安心・安全と、災害時の避難機能の両立 (防犯性の向上、照明整備、防災拠点としての機能強化)
6. その他	自然や現在の公園の良さを活かし、過度な施設整備は行わないこと (大規模な建物は設けず、身近で落ち着いた公園とする)

2. (新)城北公園整備計画(案)

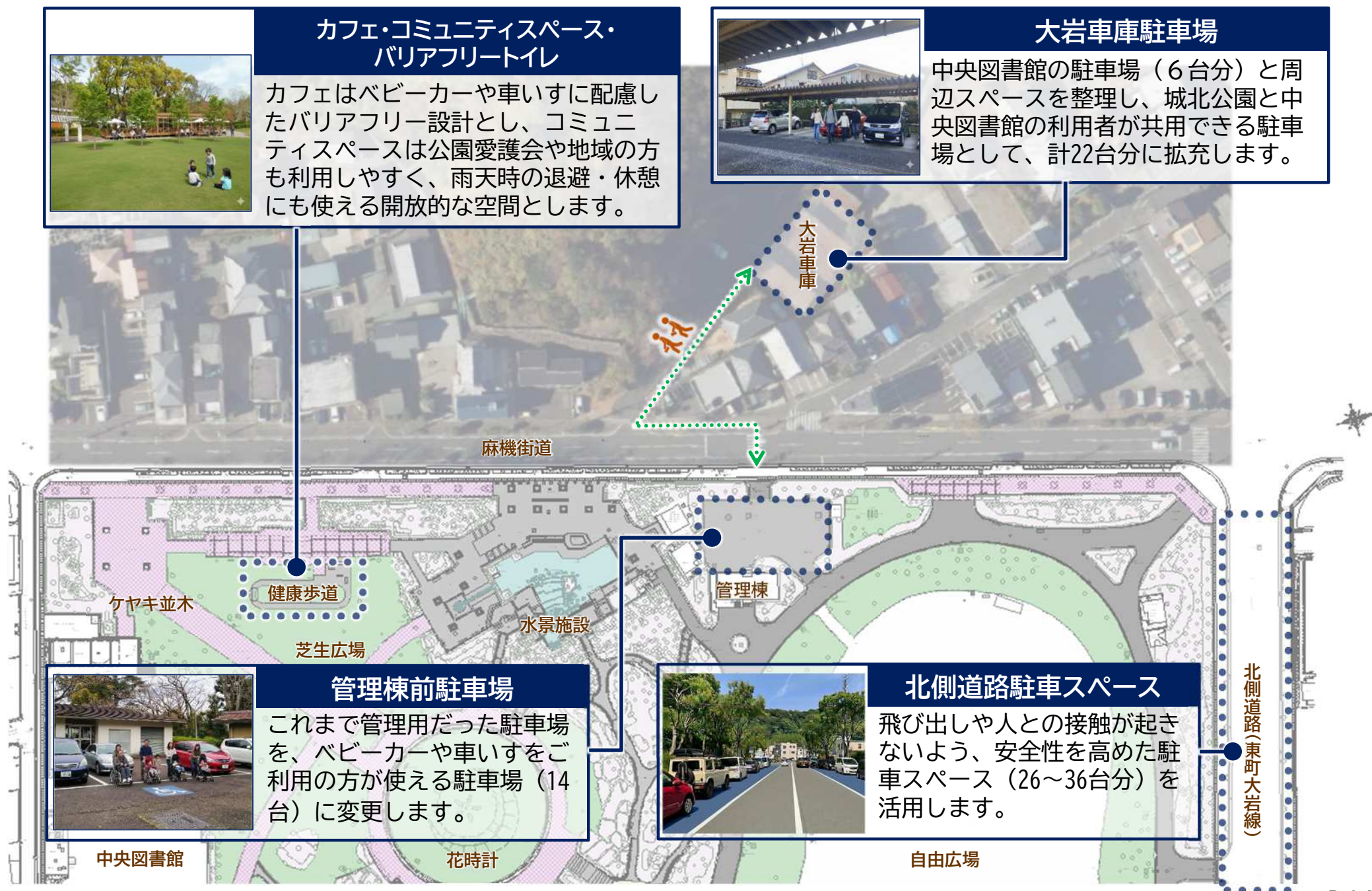
2026年6月11日公表

2-1 (新)城北公園再整備計画(案)

考慮事項	A:アンケート調査 による市民意向 (P.10)	B:懇談会からの提言 (P.13)	再整備案 (AとBを踏まえ作成)	A.Bへの適合性	
				A	B
 1. 住民参加の仕組み	誰もが安心して利用できる環境や適切な管理を求める声があり、ルール整備や防犯対策の強化を求める意見	清掃・管理・イベントなどに住民が参加できる仕組みづくり(負担を分かち合い、公園への愛着と持続的な運営につなげる)	公園愛護会・地域団体等が継続的に関われる仕組みを整え、花植え等の気軽な活動から学びの場まで段階的に参加できる体制を構築	○ 市民の関与 継続意向を 反映	○ 提言どおり 住民参画型 運営を反映
 2. コミュニティカフェ	休憩や交流の場としての必要性がある一方、「大規模・集客型」によるゴミ増加、混雑、渋滞、樹木伐採リスクへの懸念	住民が集い、関われる「地域の居場所」をつくること(キッチンカーや簡易的なカフェなど、柔軟な仕組みを想定)	50~100㎡規模の小規模なカフェとコミュニティスペースとし、日常利用・雨天時退避・地域利用に配慮	△ 必要性和 慎重意見の 両方あり	○ 小規模・非集 客型で提言 に沿う
 3. 駐車場	子育て世代からの強い要望がある一方、事故リスクや渋滞等への懸念があり、慎重な対応を求める意見	駐車場は原則として園外に整備し、園内は最小限に抑えること(歩行者の安全確保を最優先し、障がい者等に配慮)	園内はベビーカーや車いす利用者等専用の最小限とし、大岩車庫車庫・北側道路等の園外で分散配置	△ 要望と懸念 の両意見 あり	○ 園外分散配 置で提言書 を反映
 4. 樹木管理	景観の保存を求める声と、防犯面の不安から「間引き」「剪定」を求める意見が併存	樹木は保全と安全を両立し、計画的・ルールに基づいて管理すること(高木による危険や死角を減らし、景観や次世代への継承を重視)	城北公園の樹木管理基準を策定し、高木は安全対策、中低木は剪定・間引きにより景観と防犯性を両立	○ 保全と安全 の両方の 要望を反映	○ ルール化で 保全と安全 を両立
 5. 安心・安全	マナー違反や治安悪化への懸念があり、安心して利用できる環境を求める意見	日常の安心・安全と、災害時の避難機能の両立(防犯性の向上、照明整備、防災拠点としての機能強化)	照明整備、園路改修、防災機能強化により、防犯・防災・バリアフリーを一体的に向上	○ 不安解消に 向けた整備 計画	○ 防犯・防災両 立の提言に 合致
6. その他	老朽化した施設の更新やバリアフリー化の要望と、自然環境や維持管理コストへの配慮を求める意見	自然や現在の公園の良さを活かし、過度な施設整備は行わないこと(大規模な建物は設けず、身近で落ち着いた公園とする)	トイレの清潔化・配置改善、花時計や芝生広場等の既存施設を活かした更新を実施	○ 要望に応じ た対応を 実施	○ 過度な整備 回避の方針 を反映

2-2 (新)城北公園再整備計画(案)「ハード計画」

懇談会の提言書や市民アンケート等の意見を踏まえて、(新)城北公園再整備計画(案)のハード計画を作成



2-2 (新)城北公園再整備計画(案)「ハード計画」

樹木や景観に配慮し、バリアフリー仕様の誰もが利用しやすい小規模な休憩所を整備します。

カフェ・コミュニティスペース・バリアフリースイートイレ

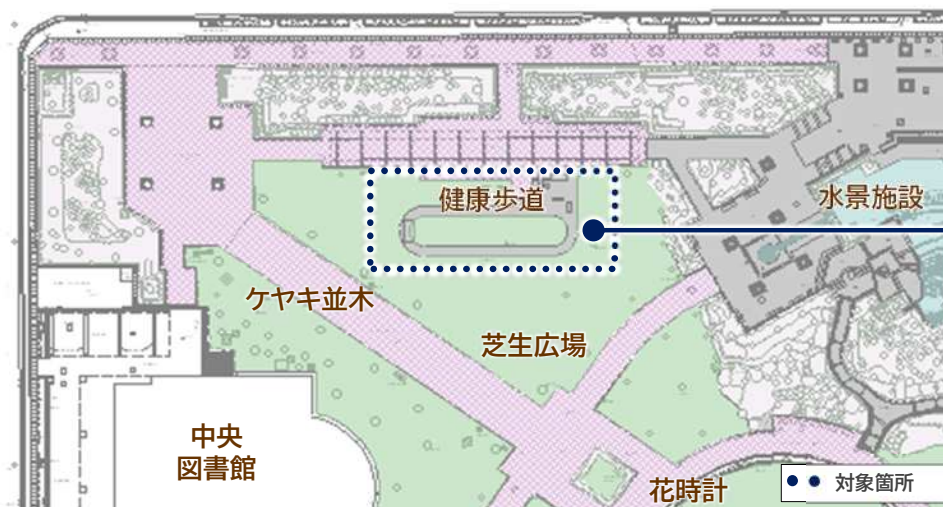
- 50～100㎡規模のコミュニティスペースは、住民参画や協働を支える居場所として、日常的に利用する方をはじめ、公園愛護会や地域の方々など、誰もが利用しやすい開かれた空間とします。
- 50～100㎡規模のカフェは、ベビーカー利用者や車いす利用者の方も安心して利用できるバリアフリー仕様とし、雨天時には一時的な退避や休憩ができる場所として機能します。



外観イメージ



健康歩道(現在)



※樹木の撤去や景観の阻害に配慮し、既存施設である健康歩道周辺の約300㎡を対象として、カフェ、コミュニティスペース及びバリアフリースイートイレの設置を計画しています。

ベビーカーや車いす利用者に配慮し、公園内にアクセスしやすい場所へ配置します。

管理棟前駐車場

- 管理棟前の駐車場14台をベビーカー利用者や車いす利用者など多様な利用者の専用駐車場とします。
- 遠足などイベント利用の専用駐車場としても使用できます。
- 駐車場を利用した歩行者と車両の動線を明確に分離することで、安全性を確保します。



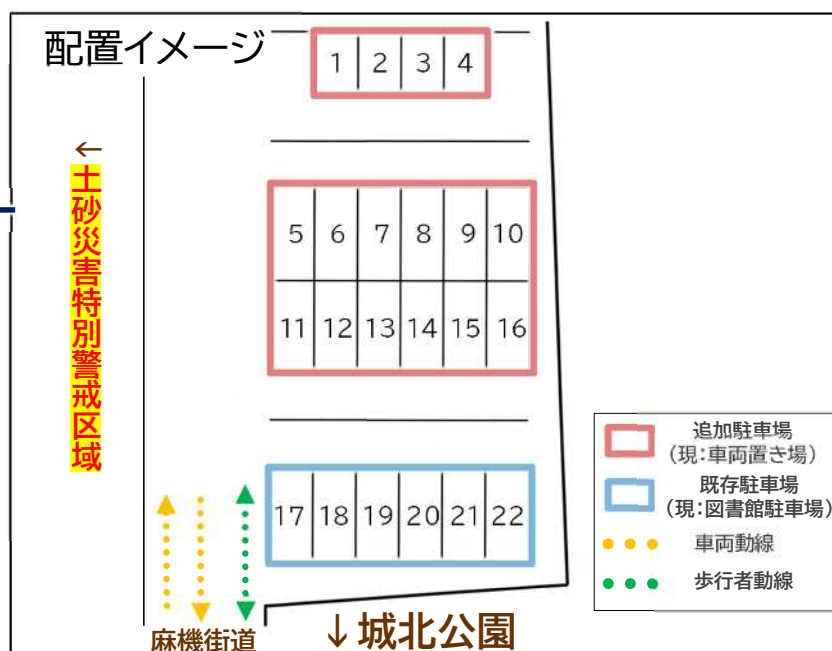
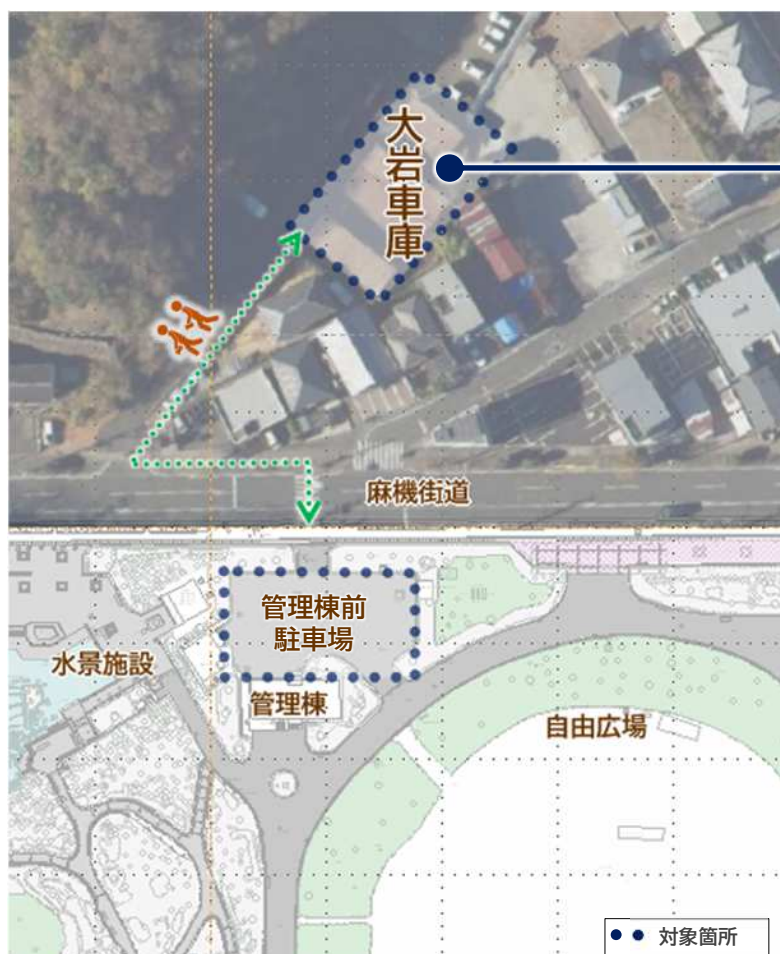
※駐車場出入口付近では、麻機街道を通行する車や歩行者が見えにくい状況があるため、樹木の剪定や安全施設の設置等を行い、安心して利用できる環境を整えます。

※駐車場の有料、無料については現在検討中

公園内への車両進入を抑えるため、駐車場は園外や周辺に分散して配置します。

大岩車庫駐車場

- 現在の中央図書館の駐車場(6台)と市の車両置き場等で使用されていたスペースを整理して、駐車場22台分を、城北公園と中央図書館の利用者が使えるようにします。(中央図書館との兼用駐車場)
- ただし、駐車場の一部は土砂災害特別警戒区域に指定されているため、気象状況等により利用を制限することがあります。



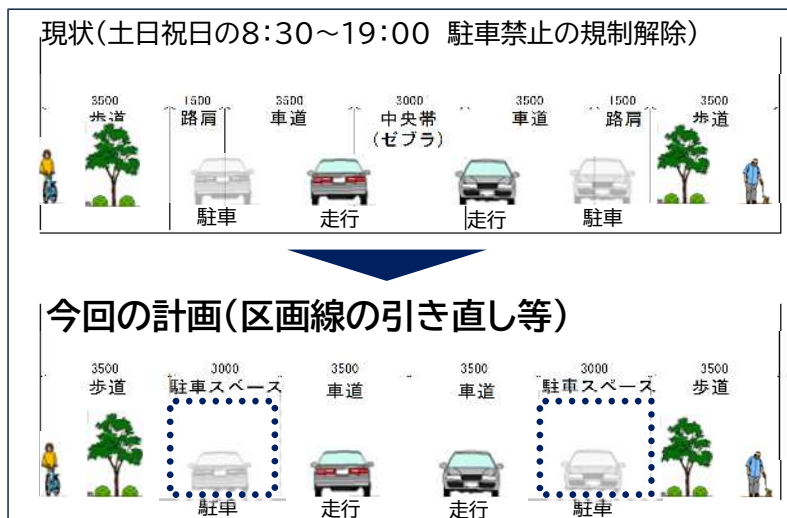
※駐車場の有料、無料については現在検討中

2-2 (新)城北公園再整備計画(案)「ハード計画」

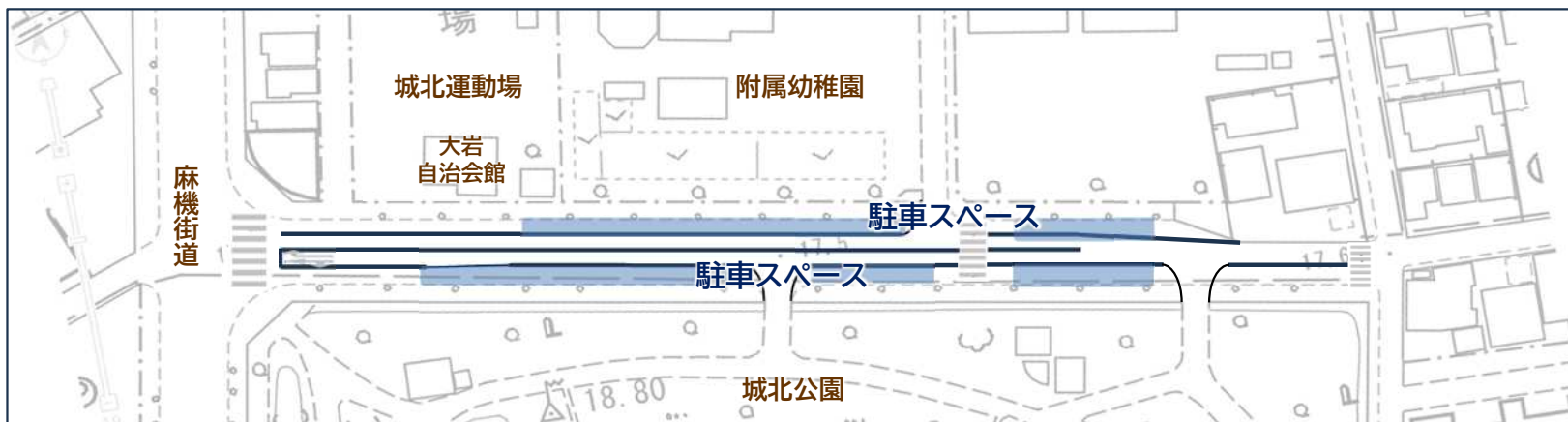
公園内への車両進入を抑えるため、駐車場は園外や周辺に分散して配置します。

北側道路駐車スペース

- 北側道路(東町大岩線)の両側に位置する駐車スペース(26～36台程度)を活用します。
- 歩行者の飛び出しや車両との接触を防ぐため、区画線の引き直し等を行い、視認性と安全性を高めたうえで、既存の駐車スペースを活用します。

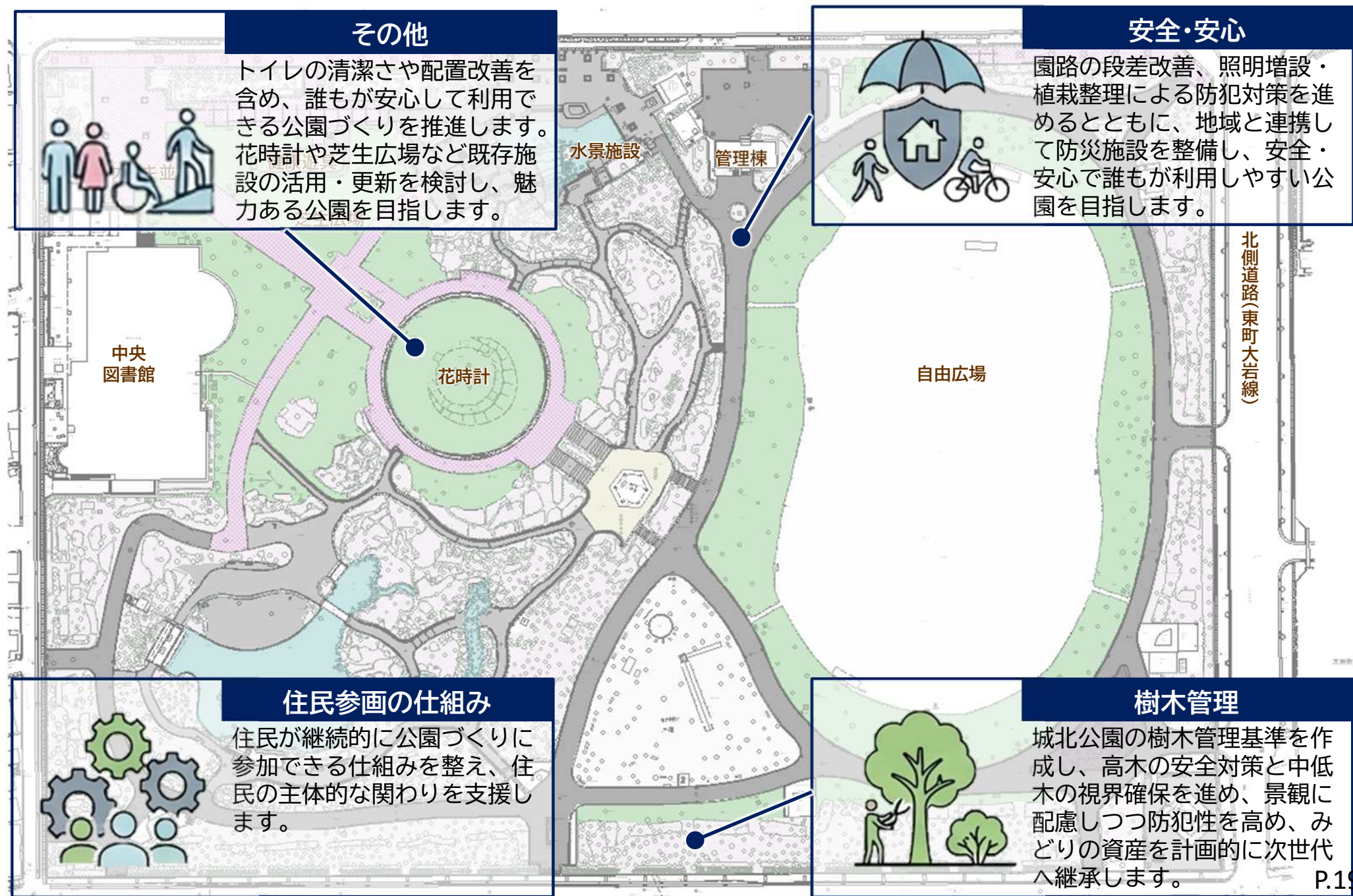


※平日の「駐車禁止の規制解除」については今後警察と協議を進めていきます



2-3 (新)城北公園再整備計画(案)「ソフト計画」

懇談会の提言書や市民アンケート等の意見を踏まえて、(新)城北公園再整備計画(案)のソフト計画を作成



住民が継続的に関われる仕組みを整え、参加しやすい体制を構築します。

住民参画の仕組み

- 住民の皆さまが継続的に公園づくりに関わるができる仕組みづくりが重要です。
- 参加しやすい活動内容を用意することで、関心を高めるとともに、当事者意識の醸成を図ります。
- 花植えやベンチの塗り替えなど気軽に参加できる活動から、専門家と連携した学びの場まで幅広い参加機会を設け、誰もが関われる運営体制をつくります。



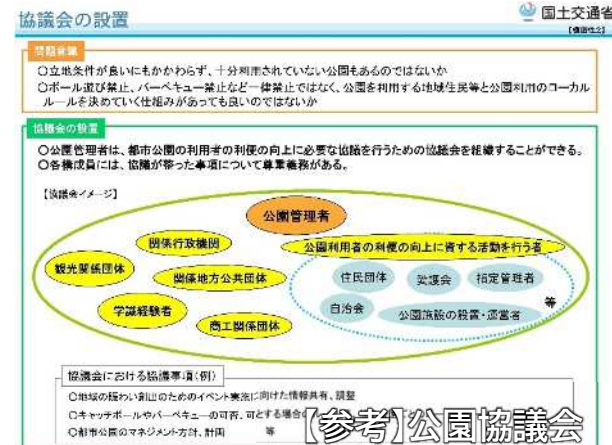
船越堤公園 芝生植えワークショップ



船越堤公園ペンキ塗りワークショップ



城北公園再整備懇談会



市民や地域団体の参画のもと、樹木管理や安全対策を段階的に進めます。

樹木管理

- 高木は、老木化による倒木リスクを踏まえ、健全性診断に基づいた計画的な剪定・伐採を行います。
- 中低木は、視界の確保や防犯性の向上に寄与するため、死角を生まない高さでの維持管理を行います。
- ケヤキ並木など保全すべきみどりを守りつつ、密集による日照不足の解消を進めます。
- 2026年4月に策定した「公園樹木管理指針(案)」をベースに城北公園の樹木管理ルールを明確化することにより、市民の皆さまに丁寧に情報をお伝えしながら、景観・安全・環境のバランスをとり、みどりを次世代へ継承していきます。



この指針は、公園の樹木を大切に守り育てていくための考え方や方向性を、市民の皆さんと共有し、行政と市民が協力して公園づくりを進めていくことを目的に作成しました。



日常的な落枝・倒木



繁茂している中低木



市民や地域団体の参画のもと、樹木管理や安全対策を段階的に進めます。

安心・安全

- 歩行者・自転車・車両の動線を整理し、園路の段差や根上りを改善するなど、日常的な安全確保に取り組み、バリアフリーやユニバーサルデザインを推進します。
- 防犯性を高めるために照明の増設や、見通しを妨げる植栽の整理を行い、夜間でも安心して利用できる環境を整備します。
- 災害時の避難場所としての機能を高めるため、地域と連携して防災施設(防災トイレ、防災かまど、防災ベンチ)などの整備を進めます。



【見通しを妨げる植栽の整理の事例】



住民が継続的に関われる仕組みを整え、参加しやすい体制を構築します。

その他

- トイレの清潔さや配置の改善も含め、誰もが安心して利用できる公園づくりを推進します。
- 花時計や芝生広場などの既存施設について、行政だけでなく住民参画の組織の中で活用方法や更新のあり方を検討し、新たな機能への転換も含め、より魅力ある公園づくりを進めていきます。



船越堤公園トイレ改修前



花時計



船越堤公園トイレ改修後



子ども専用あそび場(イメージ)

整備手法の再検討

- 今回の(新)城北公園整備計画(案)の作成するにあたり、整備手法についても改めて再検討を行いました。
- (新)城北公園整備計画(案)の実現に向けて、カフェ・コミュニティスペース・バリアフリースイレの整備・運営については、民間のノウハウの活用が不可欠であると認識しています。
- このため、これらの整備・運営については、PPP(官民連携手法)による制度を有力として進めていきます。
- 具体的手法は今後、民間事業者の参加意向を確認して決定します。

3. 基本協定の解除

3. 基本協定の解除について

基本協定※の取扱いの検討経緯

- 2021年4月、代表法人をフジ都市開発(株)とする「つなぐ公園プロジェクト」をPark-PFI事業者として選定し、当該事業者と基本協定を締結しました。
- 再整備事業(Park-PFI)の公募条件(公募設置等指針)に「駐車場の規模(48台以上)」や「駐車場の設置エリア(公園内)」が明記されています。
- 本日発表した(新)城北公園再整備計画(案)は駐車場の規模、設置エリアが再整備事業(Park-PFI)の公募条件と異なる内容となっています。
- Park-PFI事業は、公募時に示した公募条件(公募設置等指針)を満たす内容で行うことが原則となります。
- このたび、市として、公募設置等指針とは異なる内容で再整備とする方針を決定しました。このことを踏まえ、現協定のまま事業を継続すべきではないことを、市と事業者の双方で確認しました。
- 市の方針変更による協定の解除は損害賠償の対象となりますが、事業者は、損害賠償協議に時間を要することによる再整備の停滞は、市民にとって望ましくないとの意向であり、事業者は事業を円滑に進めるため、無償での合意解除を希望する意向を示しました。
- 協議の結果、2026年5月29日に、無償での合意解除により基本協定を解除しました。

※基本協定とは、2021年4月に市と「つなぐ公園プロジェクト」(フジ都市開発(株)を代表とする複数の民間事業者から成る団体)が、公園内施設の整備・管理運営の役割分担や事業期間、施設の維持管理に関する基本的な事項を定めたもので、両者が公募時に示した条件に基づき事業を円滑に進めるための前提となる取り決めです。

4. 今後の進め方

4. 今後の進め方

今後の対応

実施済(5/29)	STEP1(本日)	STEP2(6月中旬)	STEP3(8月上旬)	STEP4(未定)
事業者との「基本協定の合意解除契約書」の締結(無償解除の確定・権利放棄の書面化)	提言書を踏まえた「(新)城北公園再整備計画(案)」の発表	「(新)城北公園再整備計画(案)」についてのパブリックコメントの実施	「城北公園再整備計画」の決定(パブリックコメントを踏まえて計画(修正案)を修正)	「城北公園再整備計画」の一部施設の具体的手法について民間事業者へサウンディング調査の実施